



背景・目的

- 複雑化、深刻化する途上国における環境問題への対処には、我が国のこれまでの経験や技術を活かした環境分野での支援が求められている。
- 2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)のもと、具体的な技術協力等を進めるとともに、日中韓やASEAN等の枠組みを活用し、途上国の環境問題解決と我が国の外交の戦略的推進に貢献。
- インフラシステム輸出戦略に基づき、環境インフラの海外展開を官民一体で推進。

具体的な施策

- 環境インフラ海外展開促進及び日ASEAN環境協カイニシアティブ推進
- 都市間連携によるSDGs実施支援
- 日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM)及びTEMMプロジェクトの推進
- 二国間協力等の推進
- 海洋プラスチックに関する途上国支援の仕組みづくり

重点項目

○ 環境インフラの海外展開等の促進(拡充)

- 「ジャパン環境ウィーク」をはじめとする二国間政策対話、地域内フォーラム等を活用したトップセールスの実施。
- インフラを導入するためのソフトインフラとしての制度整備・技術支援・キャパビルの実施。
- 民間企業、自治体、他省庁や国内外の援助機関等と連携し、公的資金の活用・拡充を含めた実施体制の強化。

○ 都市間連携によるSDGs実施支援(継続)

- 東アジア各国のアジェンダへの取組の分析や目標設定の考え方等の整理を行いつつ、我が国が強みを持つ低炭素技術や廃棄物・リサイクル等の分野において、効果的な支援を行うための戦略を検討。

○ 日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM)の我が国開催及びTEMMプロジェクトの推進(拡充)

- 三カ国の環境大臣が、地域及び地球規模の環境問題に関して率直な意見交換を行い三カ国の協力関係を強化することを目的として、1999年より毎年持ち回りで開催。来年度は日本で開催。

○ 中国及び北東アジアにおける環境協力方策検討調査(拡充)

- 中国では、これまでの日中基礎調査の結果を踏まえ、協力を発展させるための調査を実施。また、その周辺地域において第三国における日中協力の可能性を検討。

○ 海洋プラスチックに関する途上国支援の仕組みづくり(新規)

- プラスチックによる海洋汚染問題についてG20、ASEAN等で途上国も含めて実効性のある取り組みを推進するため、途上国支援の国際的な仕組みを構築。



事業スキーム



期待される効果

- 我が国の国際的な環境協力を進めるため、アジアにおける様々な協力を統合的に推進し、環境協力を牽引するとともに、環境国際協力の戦略的な推進方策の検討及び具体化を推進。
- 廃棄物処理施設や再エネ・省エネ設備等の環境インフラの導入・普及により公害被害を減らし、公害対策のコストを最小化する「一足飛び型」の発展を目指す。